



試験区分：福祉・心理

しあわせ子育て応援部
福祉相談センター
児童福祉司



中山 幹太

ある1日のスケジュール

- 8:30 業務開始、メールや予定の確認
- 9:00 事務作業
- 10:00 一時保護児童と面接
- 13:30 家庭訪問（児童や保護者との面接）
- 15:00 面接内容の記録作成
関係機関との電話連絡
- 17:15 業務終了

入庁後の経歴

令和3年度 入庁
福祉相談センター 児童緊急対策課



Q

現在の担当業務を教えてください。

児童相談所では、児童虐待や非行などの子どもに関する相談支援を行っています。私は主に、児童虐待の通告を受付けた際の初期対応を行っており、家庭訪問による子どもや保護者との面接や関係機関との連絡調整によって、必要な支援につなげる仕事をしています。責任が伴う仕事ではありますが、子どもの笑顔を見るとこちらも元気が出てくるので、やりがいのある仕事だと思います。

Q

これまでの業務で印象に残っていることは。

子どもを一時保護する時のことが印象的です。子どもの安全のために親子を分離しますが、子どもにとって親と離れ離れになることは、つらいことです。改めて、子どもにとって何が最善なのか考えなければならないと身が引き締まるとともに、子どもの安心安全と未来を守る責任ある仕事だと実感します。



Q

職種のPRをお願いします。

福祉・心理職は県職員の中でも県民と接する機会が多く、相手の顔が見える仕事ですので、その分やりがいを実感しやすい仕事だと思います。皆さんと一緒にお仕事できる日を楽しみにしています。